

令和2年度12月補正予算における  
新型コロナウイルス感染症対応関連事業補正予算の概要

1 令和2年度12月補正予算の規模 (単位：千円)

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	18,141,302	61,905	18,203,207
国民健康保険事業特別会計	2,951,993	1,096	2,953,089
後期高齢者医療事業特別会計	929,576	316	929,892
合計	22,022,871	63,317	22,086,188

2 新型コロナウイルス感染症対応関連事業補正予算の概要

今回の12月補正予算のうち、新型コロナウイルス感染症への対応に係る追加の事業は、次に掲げるもののうち★印のある7項目（15事業）であり、当該補正予算合計額は44,600千円である。

(1) ★公共交通対策事業費（地域公共交通感染拡大防止対策支援事業）【生活環境課】

補正額：387千円

加越能バスが運行する石動線について、必要な感染症対策を行い、車内の密度を上げないよう配慮し、実証運行した経費に対し支援を行う。

(2) ★地域包括支援センター運営事業費【健康福祉課】 補正額：348千円

富山県新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金を活用し、介護サービス提供を行うために必要な感染症対策の環境整備を行う。

○事業内容 パーティション、相談用パソコン、非接触型体温計等の購入

(3) ★地域医療体制整備事業費【健康福祉課】 補正額：7,341千円

新型コロナウイルス感染症の影響により受診者数が減少し、診療報酬収入が激減している砺波医療圏急患センターに対し、関係3市による運営への支援を行う。

(4) ★感染予防費【健康福祉課】 補正額：1,200千円

新型コロナウイルス感染症の流行下において、感染した場合に重症化するリスクが高い65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する人が、その希望により検査を行う場合に対し助成を行う。(国庫補助率1/2、補助上限10,000円)

○検査対象者 65歳以上の高齢者、基礎疾患を有する者

○対象検査 PCR検査

○市の助成上限額 20,000円

○助成イメージ

PCR検査想定単価 25,000円－助成上限額 20,000円＝本人負担 5,000円

(5) 商工業振興対策費【商工観光課】

補正額：△2,943 千円

食事提供施設における飛沫感染等防止設備整備事業費助成金について、9月30日までの助成期間が終了し、助成金額が確定したことから事業費の減額補正を行う。

○予算額（5月15日臨時会補正予算） 6,000 千円（見込件数 60 件）

○実績額 3,057 千円（実績件数 34 件）

○減額補正額 △2,943 千円

(6) ★情報教育環境整備事業費【教育総務課】

補正額：28,104 千円

GIGAスクール構想の実現に向けた全児童生徒一人1台のタブレット端末整備に併せ、全ての小中学校普通教室（特別支援学級含む）に大型提示装置（電子黒板）を配備し、「タブレット画面の共有」や「児童生徒の意見（表現）比較」、「インタラクティブ機能（映像への書き込みやそれらの保存）」などを可能とすることで、より効果的な教育のICT化を図る。また、児童生徒用タブレット端末の保護カバー（手提げ袋）の配備も行う。

○電子黒板整備費（全普通教室 88 台（小学校 57 台、中学校 31 台）） 26,524 千円

○児童生徒用タブレット端末保護カバー（手提げ袋） 2,098 千円

○電子黒板配備計画見直しによる事業費精査（当該当初予算リース料の減額） △518 千円

(7) ★体育施設改修事業費（陸上競技場会議室の空調更新整備）【文化スポーツ課】

補正額：2,252 千円

令和3年8月に開催予定の北信越インターハイに向けて、陸上競技場会議室の空調の更新整備（新型コロナウイルス感染症対策）を行う。

(8) ★小中学校臨時休業に伴う夏期代替授業実施経費（会計年度任用職員人件費等）の精査【教育総務課】

補正額：4,968 千円

新型コロナウイルス感染症対策として実施した小中学校の臨時休業に伴う夏季期間の代替授業の実施経費（会計年度任用職員の人件費等）について精査を行う。

○対象事業 英語教育推進事業費など9事業

(9) 新型コロナウイルス感染症の影響による不用額の減額補正【関係各課】

補正額：△40,334 千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、中止又は縮小開催された行事やイベント等により生じる不用額（負担金、補助金、旅費など）について、減額補正を行う。

○対象事業 議員調査活動費など19事業

○当該補正による一般財源不用額 △36,827 千円